

山歩32たより 26年 2月号 26年 6月実施予定の案内

埼玉県 飯能市・越生町 新緑の奥武蔵の展望から古刹を尋ねる。

関八州見晴台ハイキング

実施予定日 26年5月16日(金)

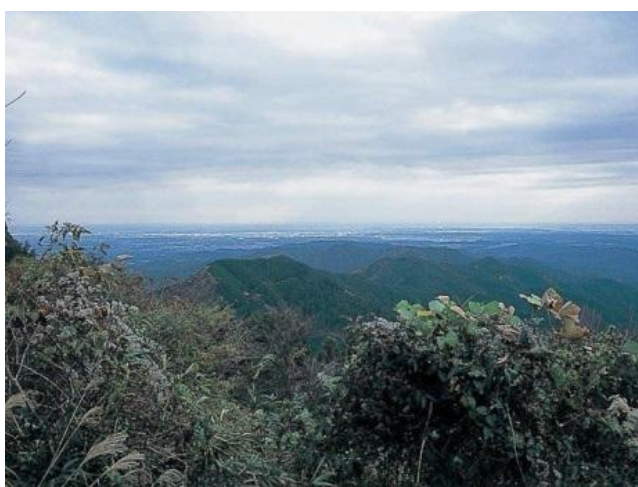
歩行時間 2時間55分 歩行距離 6.9km

交通機関 貸切小型観光バス



集合場所・時間

- ① 岡部公民館前 5時50分
- ② 成徳高等学校前 5時55分
- ③ 深谷駅南口 6時00分
- ④ 日赤病院前 6時 5分
- ⑤ 自衛隊前 6時10分
- ⑥ 籠原駅南 6時15分
- ⑦ 勤労会館入口 6時20分
- ⑧ 熊谷駅南口 6時30分
- ⑨ 吉岡郵便局前 6時40分



関八州見晴台からの展望

関八州を見渡す、最高の眺望が楽しめる高台としてこの名がついた。はるかに続く山並みが美しい。晴れた日には、南には新宿ビル群、遠く富士山が望める。

弁当持参



東屋で昼食



あじさい館

温泉入浴



タオル等入浴出来る準備してください。

関八州見晴台ハイキング シミレーション

① 行きバス運行

バス路線		距 離		所要時間	経過時間
岡部公民館前		0	5時45分配車	6分	5 時 50 分
深谷駅南口		3km	6時10分配車	6分	6 時 00 分
籠原駅南口		6km	停車・出発	10分	6 時 10 分
勤労会館入口		3km	停車・出発	5 分	6 時 15 分
熊谷駅南口		3km	停車・出発	5 分	6 時 30 分
吉岡郵便局前		3km	停車・出発	10 分	6 時 40 分
東松山IC		12km	通過	20 分	7 時 00 分
高坂 SA			休憩15分		
鶴ヶ島 IC		17km	通過	26分	7 時 30 分
西吾野駅	248m	25km	休憩15分	50分	8 時 30 分
萩の平コース登山口	252m	6km	到着	15分	9 時 00 分

バスはあじさい館回送待機

② ハイキングコース

ポイント	標 高	距 離	備 考	所要時間	経過時間
萩の平コース登山口	240m	0		0	9 時 10 分
萩の平茶屋	500m	1000m		40分	10 時 00 分
高山不動分岐	590m	1000m		20分	10 時 50 分
関八州見晴台	760m	1000m	昼食 30分	30分	11 時 30 分
高山不動本堂	580m	1200m		25分	12 時 30 分
わたど橋	310m	1900m		50分	13 時 30 分
あじさい館	210m	800m	入浴 60分	10分	13 時 40 分 14 時 50 分

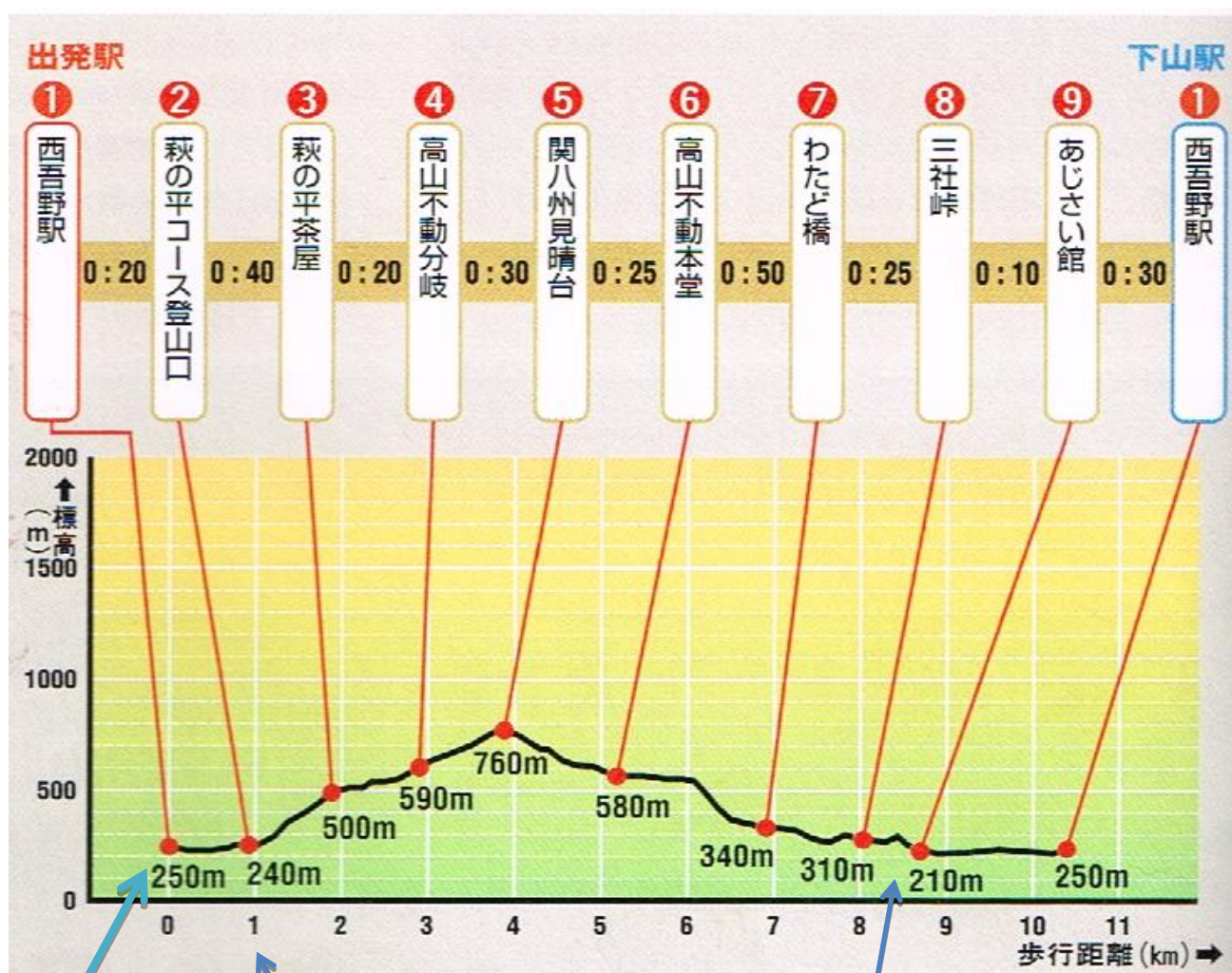
歩行距離 6.9km 歩行時間 2時間55分

③ 帰りバス運行

バス路線		距 離	備 考	所要時間	経過時間
あじさい館		0	出発	0	15 時 00 分
鶴ヶ島 IC		21km	通過	40分	15 時 40 分
東松山 IC		17km	通過	12分	16 時 05 分
吉岡郵便局前		12km	停車・出発	20 分	16 時 25 分
熊谷駅南口		4km	停車・出発	10 分	16 時 35 分
勤労会館入口		3km	停車・出発	5分	16 時 40 分
籠原駅南口		5km	停車・出発	10 分	16 時 45 分
深谷駅南口		6km	最終	15 分	17 時 00 分
岡部公民館前		6km	最終	15 分	17 時 15 分

かん はつ しゅう み はらし だい
関八州見晴台

木立の尾根道をたどり展望広がる山頂へ。由緒ある古刹を訪ね、峠を越えれば大浴場が待つ



トイレ休憩

ここまで バス
ハイキング スタート

ハイキング ラスト
温泉入浴 バス回送待機



▲高山不動名物の「乳イチョウ」

耳寄りコラム

萩の平茶屋は、休日のみ営業。冬場の甘酒(300円)は人気が高い。みそおでん(250円)も一息つくのに嬉しい一品だ。茶屋の主人は登山道の整備に熱心で、道標なども主人の手作りが多い。特に初夏の遠足シーズンには多くの児童が訪れるので、事故防止に気を使っている。事前に連絡をすれば、コースについての詳しい情報が得られるだろう。開店状況とも要確認。☎042-978-1590



急坂の連続に息を切らすころ、茶屋が現れホッとする

高 山不動は約1300年の歴史を誇る真言宗の古刹で、標高600m 近い山上の荘厳な堂宇が心を打つ。背後の稜上のピークである関八州見晴台にはその奥の院が置かれ、山岳展望が素晴らしい。帰路には小さな峠越えも楽しめる。

①西吾野駅の坂道を下り、北川沿いの車道を右へ行く。西武線のガードをくぐると右に「パノラマコース」が分かれるが、ここは直進。少し先で右の住宅街へと橋を渡る所が②萩の平コース登山口で、高山不動への道標が立っている。

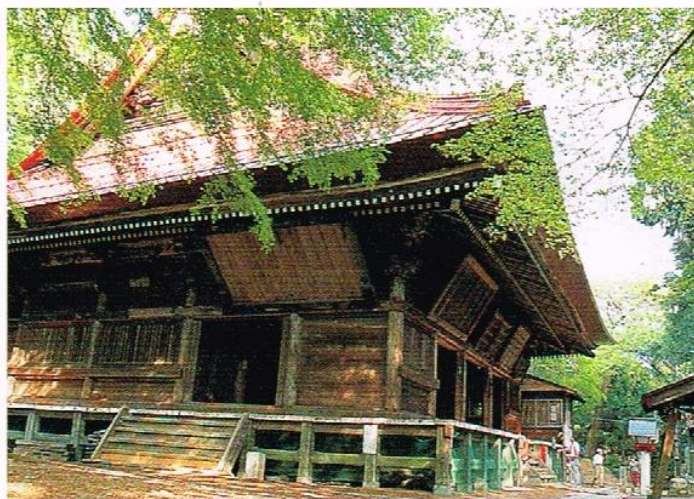
住宅街最上部の民家前を通り、竹林を抜ければ杉林の尾根道となる。傾斜は急だがよく手入れされた歩きよい道だ。ひと汗かくころ③萩の平茶屋が目の前に現れる。この先は登山道の傾斜は緩み、石仏の祀られるT字路で右から「パノラマコース」が合流する。穏やかに登る道からは、左に高畑の集落が、右には富士山や大山、大岳山などが見えてくる。

④高山不動分岐で高山不動へと直進する道に分かれ、左の尾根道に入れば、白滝分岐の十字路を過ぎて墓地の脇に出る。尾根道をわずか行けば、奥武蔵グリーンラインの車道だ。不動茶屋を右に

見て車道を横切り、山道を行けば帰路と合流して再び車道をかすめる。頂上へはもうじきだ。

登り着いた⑤関八州見晴台には奥の院と東屋が立ち、西から南へかけての展望が素晴らしい。両神山、武甲山、大持山、伊豆ヶ岳、蕎麦粒山、川苔山、富士山、御前山、大岳山、丹沢、大高山、天覚山、越上山、そして関東平野が広がる。

下りは来た道に戻り、往路を右に分けて車道を横切り、下へ続く車道に入る。これが屈曲し、高山不動駐車場を過ぎた所で右へ入れば、木立ちの



▲高山不動は新緑、紅葉の時期が特におすすめだ

駅前情報

西吾野駅

☎042-978-1222 食事処 自販機 売店 地図

西武池袋・秩父線は、飯能から高麗川沿いにさかのぼり、正丸駅を過ぎて正丸トンネルをくぐると横瀬川沿いに秩父盆地へと駆け下る。国道299号と並走し、多くの駅はいずれかの川と国道に接しているが、西吾野駅は異色だ。高麗川



▲西吾野駅は、自販機とトイレがあるだけの山間の小駅だ



▲駅の下には道標が立つ

から支流の北川へ少し入った段丘上にあり、国道から離れて静かだが、その分商店などは付近にはない。構内にも売店は無いので、食糧等は出発前に用意しておくといよい。

駅の段丘を下ると商店があり飲み物などを買えるが、営業時間は短い。国道に出ると酒屋があるが、酒類の自販機はない。駅前広場にはベンチが置いてあるので、登山前後の装備の着脱、整理などがしやすい。ハイキングマップも駅で手に入る。また本コースは周遊なのでマイカー向きとも言えるが、駅周辺は月極めの駐車場のみで、一日貸しの駐車場は無いので注意したい。



▲週末ともなると各方面へのハイカーでにぎわう

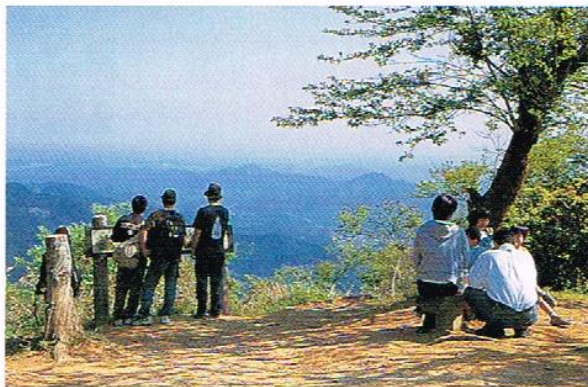
平坦な道となって⑥高山不動本堂（不動堂）の前に出る。山腹の急斜面に立てられた巨大なお堂は、豪胆な大円柱で支えられる荘重な唐破風造りで、こんな山の中によくぞ建てたものと、信仰心の厚さに感心してしまう。高山不動は正式名は高貴山常楽院と称し、武蔵の高幡不動、下総の成田不動とともに、関東の三不動と呼ばれる古刹で、国指定文化財の軍荼利明王像が祀られている。本堂前の急な石段を下れば、広場の南端にイチョウの大木がそそり立っている。推定樹齢800年、樹高37m、幹周10mといわれるこのイチョウには、気根と言われる空中に露出した根が多数垂れ下がっており、それが乳房のように見えるところから、安産、子育てに靈験ありとして「乳イチョウ」と呼ばれている。

イチョウの立つ台地を東へ進めば車道に出る。左上から入る山道が帰りの道で、「吾野駅、八徳」への道標が立っている。尾根に出た所で左に八徳への道を分け、なだらかな尾根道を下ればエゴ辻で右へカーブし、沢沿いの道となる。志田の集落



▲稜線付近は4月下旬から5月上旬、ミツバツジが咲き乱れる

に出たら、左に吾野駅への車道を分けて⑦わたど橋を渡る。時の流れに取り残されたような志田の山村から大



▲関八州見晴台から奥武蔵の山並みをのぞむ。マイカーで直下までこられるため、軽装の人も多い

窪集落に下り着き、車道を渡れば最後の峠越えだ。岩を削って作られた⑧三社峠は、登りも下りもしっかりした良い道だ。これを越えればまもなく足下に、突然奥武蔵あじさい館が見えてくる。

あじさい館の直前で国道に下り立つが、ここに道標はない。⑨あじさい館で入浴をするなら左へ、⑩西吾野駅へは右へ30分ほどの車道歩きとなる。



▲秋の平コースの起点は新旧の家の混じる住宅街だ

サブコース Check!

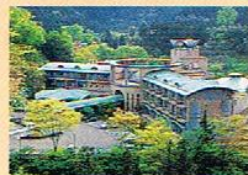
本コース手前の「パノラマコース」の道標から右へ橋を渡り、休憩所「吾笑楽」の前を右へ。すぐ左へ道標に導かれれば、広く開削されたジグザグの登りとなる。T字路を右折すれば小尾根に出て、ここから左へ尾根上の急登。杉林の急登が緩み、小ピークを越えと高山不動への車道から登ってくる道が右から合わる。平坦な道をわずか進めば石仏の置かれるT字路で、萩の平からの本コースに合流する。



▲パノラマコースの「子ノ権現遷葬所」から子ノ権現方面をのぞむ

立ち寄り湯

奥武蔵あじさい館は、高齢者を始め多くの県民が、日帰り休憩、宿泊、レクリエーション等を通じ、世代間交流を行うための県立の施設だ。食事、入浴ともに予約不要で、緑に包まれた大浴場はありがたい。☎042-978-2888、入浴は10時～15時30分。入浴料大人800円。食事は11～14時ラストオーダー。あじさい館から吾野駅へ1日8本、JR高麗川駅へ1日3本の送迎バスがある。



▲三社峠を越えると足元にあじさい館が現れる